

編集後記

発生から3年ほど経つ新型コロナウイルスですが、令和5年5月8日から感染症法上の分類が2類相当から5類に移行される見込みです。これに伴い、これまでの行動制限もなくなり、徐々に3年前の懐かしい日常に戻っていくのかと思われまます。これ自体は喜ばしく感じているのですが、では、かつての日常に完全に戻るのかといえば、この3年間で人々の生活様式は大きく変化して、元通りには戻らないと予想されます。

仕事の上では、一部の業種の方のことだと思っていた在宅勤務やweb会議が新型コロナウイルス以降では当たり前の世の中となり、建設工事分野では建設DXの加速により遠隔臨場も推進されています。人の動きを極力減らして仕事を効率化するというこの動向は「働き方改革」や「ワークライフバランス」といった観点からも歓迎されるべきことですが、鉄道などの公共交通機関の経営という観点では、交通需要の減少につながり、従来からの人口減少と相まって、経営を圧迫する要素のひとつとなっています。新たな需要の発掘や、業務の効率化が課題となっています。

我が国の鉄道を取り巻く社会環境として、人口減少や少子高齢化の予

測、ユニバーサルデザインの普及、地球環境問題、海外事業への展開など、大きな変化が生じてつつあるなか、感染症対策を契機にリモートワークや遠隔授業などが急速に普及するなど、インフラとしての鉄道のあり方にも大きな転換期が訪れようとしています。

一方、公共交通機関としての鉄道への期待は依然として高く、整備新幹線や都市鉄道の整備が着々と進んでいますが、老朽化する既存施設の保全も大きな課題となっています。

本号では、最新の鉄道建設技術、保線技術等について土木、軌道、架線、保守用車両、画像解析、路線計画といった多岐に亘る分野からの寄稿を頂きました。

巻頭言では、富山大学 金山洋一教授に「鉄道に求められる変革とパラダイムシフト」と題して寄稿頂きました。少子高齢化、労働力の減少、地方都市における都市のスポンジ化、アフターコロナに残る行動変容、富山市における鉄道モビリティ向上の影響、海外での鉄道モビリティ向上の取り組み、都市経営としての収支の観点について論じて頂き、日本の都市と鉄道の将来のための5つのパラダイムシフトを提言頂きました。

入稿や編集作業の時期が、多忙な年度末であるにも関わらず、対応頂きました執筆者をはじめ関係された方々に、厚く御礼申し上げます。

(平田・細田)

機関誌編集委員会

編集顧問

| | |
|-------|-------|
| 今岡 亮司 | 加納研之助 |
| 後藤 勇 | 佐野 正道 |
| 新開 節治 | 関 克己 |
| 高田 邦彦 | 田中 康之 |
| 田中 康順 | 中岡 智信 |
| 渡邊 和夫 | 見波 潔 |

編集委員長

| | |
|-------|-------------|
| 中野 正則 | 日本ファブテック(株) |
|-------|-------------|

編集委員

| | |
|-------|--------------|
| 菊田 一行 | 国土交通省 |
| 垂井 保典 | 農林水産省 |
| 細田 豊 | (独)鉄道・運輸機構 |
| 岡本 直樹 | (一社)日本機械土工協会 |
| 穴井 秀和 | 鹿島建設(株) |
| 赤坂 茂 | 大成建設(株) |
| 宇野 昌利 | 清水建設(株) |
| 阿部 靖 | (株)大林組 |
| 加藤 友希 | (株)大林組 |
| 出口 明 | (株)竹中工務店 |
| 宮川 克己 | (株)熊谷組 |
| 松本 清志 | (株)奥村組 |
| 京免 継彦 | 佐藤工業(株) |
| 平田 惣一 | 鉄建建設(株) |
| 副島 幸也 | (株)安藤・間 |
| 松澤 享 | 五洋建設(株) |
| 飯田 宏 | 東亜建設工業(株) |
| 佐藤 裕 | 日本国土開発(株) |
| 丑久保吾郎 | (株)NIPPO |
| 室谷 泰輔 | コマツ |
| 山本 茂太 | キャタピラージャパン |
| 花川 和吉 | 日立建機(株) |
| 丹治 雅人 | コベルコ建機(株) |
| 漆戸 秀行 | 住友建機(株) |
| 大竹 博文 | (株)加藤製作所 |
| 本間 正敏 | 古河ロックドリル(株) |
| 松本 正徳 | 施工技術総合研究所 |

事務局

(一社)日本建設機械施工協会

4月号「都市環境の向上、都市基盤整備特集」予告

・道路空間の利活用を推進するためのガイドラインの策定 ・「道の駅」第3ステージ ・竹芝地区における都市基盤・環境整備とエリアマネジメントを中心とした生きた景観づくりの取り組み
 ・西九州新幹線の駅舎及び周辺整備 ・北陸新幹線高架橋橋脚工事における生産性向上 ・横環南戸塚IC改良(その1)工事 ・福島県浪江町における「なみえスマートモビリティ」による地域活性化への取り組み ・環状七号線地下広域調節池シールド工事 ・シールド機を用いた地中接合工事の現場報告 ・白川「緑の区間」における水辺の賑わいを創出するための地域活動
 ・川崎カーボンニュートラルコンビナート構想 ・日本一超高層現場におけるDXチャレンジ
 ・ウェルビーイングとカーボンニュートラルの実現に向けて ・AIモデルを用いた地中埋設探索システムの開発

【年間定期購読ご希望の方】

- ①書店でのお申し込みが可能です。お近くの書店へお問い合わせください。
 ②協会本部へのお申し込みは「年間定期購読申込書」に必要事項をご記入のうえFAXをお送りください。

詳しくはHPをご覧ください。

年間定期購読料(12冊) 9,408円(税・送料込)

建設機械施工

第75巻第3号(2023年3月号)(通巻877号)

Vol.75 No.3 March 2023

2023(令和5)年3月20日印刷

2023(令和5)年3月25日発行(毎月1回25日発行)

編集兼発行人 金井道夫

印刷所 日本印刷株式会社

発行所 本部 一般社団法人 日本建設機械施工協会

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内

電話(03)3433-1501; Fax(03)3432-0289; <http://www.jcmanet.or.jp/>

| | |
|-----------------------------------|-----------------|
| 施工技術総合研究所 〒417-0801 静岡県富士市大淵 3154 | 電話(0545)35-0212 |
| 北海道支 部 〒060-0003 札幌市中央区北三条西2-8 | 電話(011)231-4428 |
| 東北支 部 〒980-0014 仙台市青葉区本町3-4-18 | 電話(022)222-3915 |
| 北陸支 部 〒950-0965 新潟市中央区新光町6-1 | 電話(025)280-0128 |
| 中部支 部 〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-17-10 | 電話(052)962-2394 |
| 関西支 部 〒540-0012 大阪市中央区谷町2-7-4 | 電話(06)6941-8845 |
| 中国支 部 〒730-0013 広島市中区八丁堀12-22 | 電話(082)221-6841 |
| 四国支 部 〒760-0066 高松市福岡町3-11-22 | 電話(087)821-8074 |
| 九州支 部 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-4-30 | 電話(092)436-3322 |

本誌上への広告は  有限会社 サンタナ アートワークス までお申し込み、お問い合わせ下さい。

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町2-21-5 井手口ビル4F TEL: 03-3664-0118 FAX: 03-3664-0138

E-mail: san-mich@zam.att.ne.jp 担当: 田中